

関係・定住人口創出に向けた府中地域での暮らし体験型コンテンツのデザイン



菅原宏太ゼミ×府中をよくする地域会議
@京都府宮津市府中地域

◆ 宮津市府中地域について

➤ 天橋立の北側に位置し、漁村集落、農村集落、観光地エリアを有する。(人口1,722人、世帯数761世帯;R2.9.30現在)

➤ 若者の流出と高齢化のため人口が減少し、地域の活力が低下。

➤ 天橋立をはじめ元伊勢籠神社、溝尻の舟屋、丹後郷土資料館、天橋立ワイナリーなどの様々なコンテンツがあるが、面的な観光形態を実現できていない。



➔ **観光まちづくりを運営する事業組織の設立を構想中**

◆ 菅原ゼミ参画の目的と活動内容

➤ 事業組織が運営する予定の「暮らし体験型プログラム」について、耕作放棄地を活用したコンテンツを提案する。

展望と課題: (i) 郷土資料館のリニューアル(令和8年度中)、(ii) グリーンスローモビリティ実証実験、(iii) 耕作放棄地の拡大

➤ 令和6年度の活動内容

✓ **現地視察(6月):** 耕作放棄地、天橋立ワイナリー、オリーブ農園、天平の古道

✓ **オンラインmtg(6、7月):** アイデア発表と意見交換

✓ **現地イベント開催(11月):** 芋ほり収穫祭、竹灯籠イベント、観光客調査

✓ **成果報告会・京都から発信する政策研究交流大会(12月):** 3班による発表



◆ 菅原ゼミの提案内容

➤ **宮津vacantour-空き地から始める新たなツアー-(A班)**

点在する耕作放棄地へのキッチンカー等の出店による食フェス。天橋立の2次観光としてグリスロと連携した周遊型イベント。



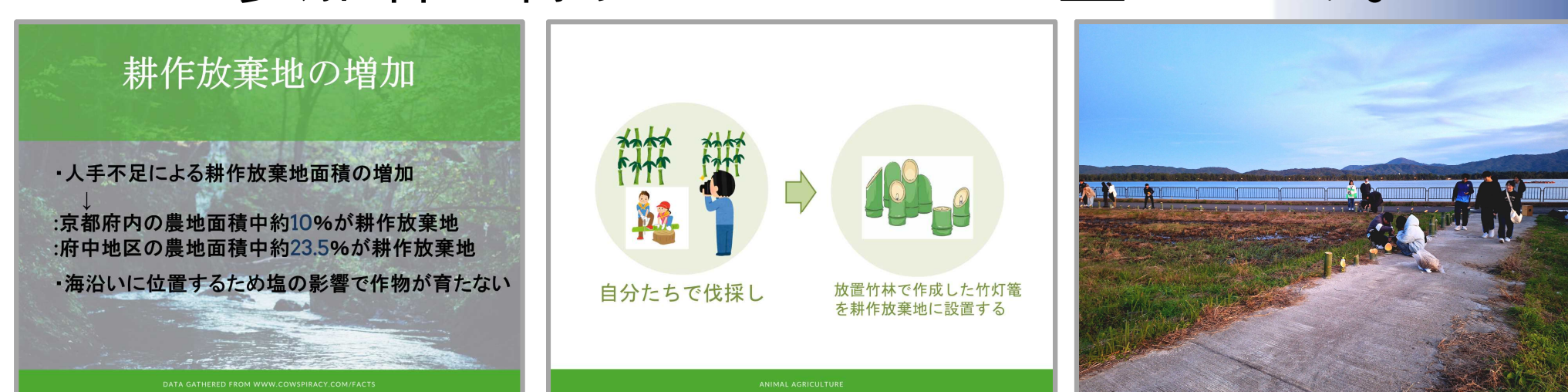
➤ **OIMO-宮津市府中地域の今と今後に向けて-(B班)**

耕作放棄地を利用した収穫祭。作付け体験や調理体験などもセットにして、農作物の生育過程における各段階での農作業を体験する周期型イベント。



➤ **BANG BANG BOW~竹灯籠で照らす耕作放棄地~(C班)**

耕作放棄地を利用した竹灯籠アート。放置竹林からの切り出し、灯籠づくり、灯籠点灯までを参加者が行うワークショップ型イベント。



◆ 今後の連携について

✓ 5年前の連携スタート時より、菅原ゼミの役割は、地元住民には無い「よそもの、わかもの」の視点で提案し、事業組織の構想も、菅原ゼミのアイデアが基になったものである。

✓ 府中地域で初となる大規模な収穫体験イベントを地域会議とともに共催した。 資金的な事情により、府中との連携は今年度で一旦終了するが、将来的な事業組織によるプログラム運営には協力していく予定である。